

様式第4号（第11条関係）

審議会等の会議の記録

|                   |  |
|-------------------|--|
| 審議会等の名称           | 令和2年度 第5回西脇多可行政事務組合<br>一般廃棄物処理施設整備委員会  |
| 開催日時              | 令和3年3月4日（木）<br>午後3時00分～午後5時30分   |
| 開催場所              | 北播磨清掃事務組合（みどり園）<br>会議室   |
| 出席委員の氏名<br>又は人数   | 学識経験のある者<br>大阪市立大学大学院工学研究科 教授 西村 伸也<br>京都大学大学院工学研究科 准教授 大下 和徹<br>西脇市副市長及び多可町副町長<br>西脇市副市長 吉田 孝司<br>多可町副町長 笹倉 康司<br>関係行政機関の職員<br>西脇市技監 黒坂 公晶<br>多可町技監 竹本 修<br>多可町防災環境担当理事 藤本 巧<br>北播磨清掃事務組合事務局長 門脇 慶尚<br>西脇多可行政事務組合一般廃棄物処理施設整備委員会<br>条例第9条により出席する委員以外の者<br>北播磨清掃事務組合専門員 藤原 利昭 |
| 欠席委員の氏名<br>又は人数   | 関係行政機関の職員<br>西脇市くらし安心部長 高田 洋明  |
| 出席職員の職・<br>氏名又は人数 | (事務局)<br>事務局長 真鍋 俊哉<br>資源循環課長 西村 幸浩<br>資源循環課長補佐 芝 和征<br>資源循環課主任 神崎 貴則<br>資源循環課 小谷 大樹<br>(コンサルタント)<br>中外テクノス株式会社 松岡 巨恒<br>小寺 幸生<br>(公財)ひょうご環境創造協会 竹村 博章<br>栃本 大介  |

|            |  |
|------------|--|
|            | (関係市町職員)<br>西脇市環境課長 岸本 雅彦<br>多可町生活安全課長補佐 遠藤 任紀   |
| 公開・非公開の別   | 公開   |
| 非公開の理由     | —  |
| 傍聴人の数      | 1人   |
| 議題又は協議事項   | 1 開会<br>2 議事<br>(1) 第3回整備委員会協議内容の整理について<br>(2) 第4回整備委員会協議内容の整理について<br>(3) 事業方式について<br>(4) 発注方式について<br>(5) エネルギー回収施設の処理方式について<br>(6) エネルギー利用計画について<br>(7) エネルギー回収施設の煙突高さについて<br>3 その他<br>4 閉会 |
| 会議の記録 (概要) |  |
| 発言者        |  |
| 事務局        | <b>1 開会</b><br><b>○ 配布資料の確認</b><br><b>○ 委員長あいさつ</b><br><b>○ 会議の成立の報告</b>   |
| 事務局        | ・ 委員9名中8名出席により、会議成立を報告   |
| 委員長        | <b>○ 議事録署名人選出</b><br>・ 本日の議事録署名人に、吉田委員と竹本委員を指名   |
| 委員長        | <b>○ 会議の公開・非公開確認</b><br>・ 非公開内容がないことを委員会において確認したため、本日の会議は公開とすることを決定  |

|     |   |
|-----|---|
|     | <p><b>○ 傍聴定員の決定</b></p>   |
| 事務局 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 本日の傍聴希望者は1人であることを報告</li> </ul>   |
| 委員長 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 整備委員会運営要綱第5条に定める定員以下のため、入室を許可</li> </ul>   |
|     | <p><b>2 議事</b></p>  |
|     | <p><b>(1) 第3回整備委員会協議内容の整理について</b></p>   |
| 事務局 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 資料1に基づき、事務局より説明</li> </ul>   |
| 委員長 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 第3回整備委員会協議内容の整理について、質疑等はないか。</li> </ul> <p>(質疑等はなし)</p>  |
| 委員長 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 質疑等がないため、次の議事に進行する。</li> </ul>   |
|     | <p><b>(2) 第4回整備委員会協議内容の整理について</b></p>   |
| 事務局 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 資料2に基づき、事務局より説明</li> </ul>   |
| 委員長 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 第4回整備委員会協議内容の整理について、質疑等はないか。</li> </ul> <p>(質疑等はなし)</p>  |
| 委員長 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 質疑等がないため、次の議事に進行する。</li> </ul>   |
|     | <p><b>(3) 事業方式について</b></p>  |
| 事務局 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 資料3に基づき、事務局より説明</li> </ul>   |
| 委員長 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 事業方式について、質疑等はないか。</li> </ul>   |
| 委員  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 資料3 2ページ図表1-2においてDB+O方式とDBO方式の採用実績が同数程度である。LCCの削減から見るとDBO方式がより優位であると考えますが、採用実績が同数程度となって</li> </ul> |

|         |   |
|---------|---|
|         | <p>いる要因は何が考えられるか。</p>   |
| コンサルタント | <ul style="list-style-type: none"> <li>建設事業者の選定までに必要な期間で優位となることから、DB+O方式を採用する傾向があると考えている。</li> </ul>  |
| 委員      | <ul style="list-style-type: none"> <li>ごみ処理施設の事業者選定においては、価格だけではなく設備の信頼性に重きがおかれるべきである。DB+O方式であれば建設後に改めて適切な長期包括運營業務受託先を選定することができ、本事業に適した発注方式だと考える。</li> </ul>   |
| 委員      | <ul style="list-style-type: none"> <li>DB+O方式であれば、建設事業者の責任の元、建設後の3年間で適切な薬剤使用量等が設定できる。仮に契約当初の想定と異なる点が出てきても是正することができるのではないかと考える。</li> </ul>   |
| 委員      | <ul style="list-style-type: none"> <li>今回の施設規模は比較的小さく、他施設における実績が少ない事業領域もあるのではないかと考える。このことから、発注方式をDB+O方式とし、適切な運営方法を見極める時間があるほうがよいと考える。</li> </ul>  |
| 委員長     | <ul style="list-style-type: none"> <li>リスク負担に対する柔軟性を新たに評価対象に加えた方がよいと考える。</li> <li>当委員会としては、事業方式をDB+O方式とすることを認めるが、図表1-5事業方式の評価結果について、再整理を行い、次回委員会において改めて提示するようお願いする。</li> </ul> <p><b>(4) 発注方式について</b></p> |
| 事務局     | <ul style="list-style-type: none"> <li>資料4に基づき、事務局より説明</li> </ul>   |
| 委員長     | <ul style="list-style-type: none"> <li>発注方式について、質疑等はないか。</li> </ul>   |
| 委員      | <ul style="list-style-type: none"> <li>総合評価方式の場合、一般競争入札になるが応募が1社となった場合でも契約を行うのか。また、総合評価方式とプロポーザル方式の両方式において事業者の提案額が予定価格に収まらなかった場合、仕様書を見直し再度公募することになると思うが、そのリスクについてどう考えているか。</li> </ul>                     |

|                |  |
|----------------|--|
| <p>コンサルタント</p> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 応募が1社となった場合に、どのような取り扱いにするかについては、募集を行う前に決めることになる。</li> <li>・ 予定価格については、募集の時点で公表するため、予定価格を超える提案はない。</li> </ul>  |
| <p>委員</p>      | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 過去に予定価格を公表したうえで募集をしたが、応募がなかった事例がある。このような場合は仕様書の変更を行い、再度公募することになるが、ごみ処理施設の整備において、仕様書の変更を行うことは難しいのではないか。</li> </ul>   |
| <p>事務局</p>     | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 応募がない場合も想定しておく必要があり、その場合の対応について考えておく必要があるものとする。</li> </ul>  |
| <p>委員長</p>     | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 私が知りえる事例でも応募がなかったことがある。プロポーザル方式と総合評価方式のどちらの場合でも、多くの事業者が応募しやすいような評価項目とすべきである。特に、新しい技術を取り入れようとしている施設のため、過去の実績に重きを置くと門戸が狭くなってしまう。</li> <li>・ また、建設期間の関係等から事業者が参加を敬遠する可能性もあるため、公募までにリスク分担の詳細を決めておく必要がある。</li> </ul> |
| <p>委員</p>      | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 多可町ではプロポーザル方式の採用事例が多い。当事業では価格も重要な点であるが技術力も重視し、事業者の様々な意見を聴取できるプロポーザル方式がよいと考える。</li> </ul>  |
| <p>委員長</p>     | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 本事業ではプロポーザル方式が適していると考え。ただし、随意契約となるため、事業者選定の過程で恣意性がないよう注意が必要である。</li> <li>・ 当委員会としては発注方式をプロポーザル方式とすることを認めるが、事業者とのやり取りがスムーズにいくような発注仕様書の作成をお願いする。</li> </ul>   |

|         |  |
|---------|--|
|         | <b>(5) エネルギー回収施設の処理方式について</b>  |
| 事務局     | <ul style="list-style-type: none"> <li>資料5に基づき、事務局より説明</li> </ul>  |
| 委員長     | <ul style="list-style-type: none"> <li>エネルギー回収施設の処理方式について、質疑等はないか。</li> </ul> <p>(質疑等はなし)</p>                                |
| 委員長     | <ul style="list-style-type: none"> <li>当委員会としては、処理方式を「焼却方式（ストーカ方式）」、炉形式を「全連続運転式焼却炉」、系列数を「2炉構成」とする事務局の提案を認めることとする。</li> </ul> |
|         | <b>(6) エネルギー利用計画について</b>   |
| 事務局     | <ul style="list-style-type: none"> <li>資料6に基づき、事務局より説明</li> </ul>  |
| 委員長     | <ul style="list-style-type: none"> <li>エネルギー回収方法について、現段階の評価では温水利用が有利であるが、事業費等について検討を進めていき、今後の決定とするという提案でよろしいか。</li> </ul>    |
| 事務局     | <ul style="list-style-type: none"> <li>そうである。</li> </ul>   |
| 委員長     | <ul style="list-style-type: none"> <li>エネルギー利用計画について、質疑等はないか。</li> </ul>   |
| 委員      | <ul style="list-style-type: none"> <li>他の資料では、同規模施設の採用実績を調査し、資料に記載しているが、エネルギー回収方法についても記載できないのか。</li> </ul>                   |
| コンサルタント | <ul style="list-style-type: none"> <li>記載することは可能であるが、当事業で活用する交付金と異なる交付要件のもと整備された施設がほとんどであり、単純な比較は難しいと考える。</li> </ul>         |
| 委員      | <ul style="list-style-type: none"> <li>他施設がどのようなエネルギー回収方法を導入してきたかは交付要件が異なっても重要な事項である。</li> </ul>                             |
| コンサルタント | <ul style="list-style-type: none"> <li>採用実績の調査を行い、記載する。</li> </ul>   |
| 委員      | <ul style="list-style-type: none"> <li>資料3 4 ページ図表1-3内のイニシャルコストの項目にお</li> </ul>  |

|                               |  |
|-------------------------------|--|
| 事務局                           | <p>いて、「発電」と「発電+温水利用」が同評価となっているが、「発電+温水利用」は、「発電設備に加えて温水供給設備が必要となるため最も事業費が高くなる。」と記載されている。ランニングコストについても、「発電」は「FIT制度を活用し、売電収入が得られる。」となっているが、「発電+温水利用」は「売電収入が得られる場合がある。」となっている。これだけを見ると「発電」と「発電+温水利用」を比較した場合、「発電」が優位となり、資料と異なる結果になると思われるがどうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ メーカーアンケートでは、「温水」、「発電」、「発電+温水利用」の3方式について回答があったが、その後のヒアリングにおいて、「発電」のみの提案を行っていた事業者においても必要に応じて「温水利用」を行える旨の回答を得ている。</li> <li>・ このことから、「発電」と「発電+温水利用」を一つにまとめ、資料を修正する。</li> </ul> |
| 委員長                           | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 本日の委員会では、エネルギー回収方法の決定はできないと考える。今後さらに検討を行うとの説明があったことから、資料の修正を行い、改めて事務局から説明をいただくということでご理解いただけるか。</li> </ul>   |
| 委員                            | (異議なしの発声)  |
| <b>(7) エネルギー回収施設の煙突高さについて</b> |  |
| 事務局                           | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 資料7に基づき、事務局より説明</li> </ul>  |
| 委員長                           | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ エネルギー回収施設の煙突高さについて、質疑等はないか。</li> </ul>  |
| 委員                            | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 資料7 4ページ図表1-3に記載されている予測結果について、どのような気象条件で行ったものか。</li> </ul>  |
| コンサルタント                       | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 建設予定地周辺で、1年間の気象データを収集し、風速や風向等の年間平均を用いてシミュレーションを行った。</li> </ul>  |
| 委員長                           | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 季節によって風向きが異なると思うが。</li> </ul>   |

|         |   |
|---------|---|
| コンサルタント | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 予測結果はあくまで年間の平均である。ある一定の季節だけを抜き出し、シミュレーションを行えば当然異なる結果が出る。あくまでも1年間の平均値として考えていただきたい。</li> </ul>   |
| 委員      | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 資料内でピコグラム、ナノグラムといった表記が混在しており、わかりにくい。ピコグラムの後ろに括弧書きでナノグラムに換算した値を書く等の工夫をする方がいいと考える。</li> </ul>  |
| 事務局     | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 表記方法について検討する。</li> </ul>   |
| 委員長     | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 他に質疑等はないか。</li> </ul> <p>(質疑等はなし)</p>  |
| 委員長     | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 煙突高さについて、第1回整備委員会では、59メートルを採用し、生活環境影響調査の結果により必要に応じて見直すこととしていたが、本日の資料により煙突高さを原案のとおり59メートルとすることで決定してよいか。</li> </ul>                              |
| 委員      | <p>(異議なしの発声)</p> <p><b>3 その他</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 特になし</li> </ul> <p><b>4 閉会</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 次回委員会は令和3年3月23日を予定</li> </ul> |
| 問合せ先    | 西脇多可行政事務組合資源循環課   |